

## 第11回 一括りにしない

～ 「かながわハイスクール議会」での気づき ～

「かながわハイスクール議会」に参加した2年山野上さんに話を伺いました。

参加しようと思ったきっかけについて聞かせてください。

私は、将来の仕事として、町づくりに関わりたいと思っていて、KU(「光陵ユニバーズ(総合的な学習の時間)」)でもこのことをテーマに研究しています。そこで、何か町づくりをテーマに活動したいなと思っていました。これまでの「かながわハイスクール議会」で町づくりをテーマに取り上げることがあったので、参加してみようかなと思ったのがきっかけです。ところが、今年のご案内を見ると、今年は町づくりそのものをテーマとしては取り上げてはみませんでした。が、「共生社会」というテーマがあり、関係が深いと考えて参加することにしました。

3日間の日程と聞いています。実際にはどんな活動をしたのですか。



初日は、県議会の本会議場に100人近い参加者が集まって、SDGsの17の目標について、身近なことで解決できることなどを話し合いました。私は、「15 地球環境の保護」について、意見を述べました。裏紙を使うことで、紙資源を節約することをもっと拡大していったらよいのではと提案しました。それに対して、「県でも推奨したいと思います」というコメントをもらいました。

らいました。

6つのテーマごとに、委員会が構成されており、私は、「共生社会」の委員会に所属しました。委員会では、自己紹介をした後、皆で話し合い、テーマ「共生社会」に対して、「誰もがその人らしく暮らすことができる社会」という目標を設定しました。障がいをもっている人や外国の人など、違った立場で考えることは普段あまりしていなかったもので、考えさせられました。

私は書記を務めましたが、委員長になった女性は、共生社会や人種差別について研究している方でした。その一環として参加したとのことで、積極的に発言していました。ジェンダーについても調査していると聞き、多いに刺激を受けました。

2日目はいかがでしたか。

1日目に決めたテーマについて、引き続き委員会で話し合いました。最終日は県知事に対して意見等を伝えるために、自分たちの考えを議定書にまとめました。朝9時から5時まで、普段使わない頭を使ったので、とても疲れました。

メンバーの中にヘルプマークを持っている人がいたのですが、これを持っていると席を譲ってもらえるとして、ヘルプマークが売買されたり、悪用されている実態があり、それが非常に悲しいと訴えていました。そのことについて、私も積極的に意見を言って、皆でいろいろと解決策を探りましたが、なかなか難しい問題だと思いました。しかし、こういう人の存在を知ったので、今後も、自分に何ができるかを考えていきたいと思います。

また、津久井やまゆり園の問題について、建て替えがいいのか移転がいいのかなどについても話し合いました。住み慣れた環境の方がいいとも思いますが、思い出したくないということもあるので、私自身は新しい場所で生活するのでもいいのではないかと思います。しかし、最終的には、障がいのある人自身の考えを尊重してほしいなと思いました。それぞれの人の置かれた状況や考えることは違うので、一括りにしてはいけなと強く思いました。

最終日のことを聞かせてください。

本会議場で、神奈川県知事に対して、議定書に基づいて私たちが話し合ったことを意見表明しました。「かながわ憲章」の認知度が 17%と低いので、これを条例化することによって県民の意識が変わるのではないかと提案しました。これに対して黒岩知事は、3年間頑張ってきたので、条例という形ではなくこのまま周知に努めたい、とおっしゃっていました。私たちが話し合った内容を直接県知事に聞いてもらうという貴重な体験ができたので、参加してみて良かったと思います。

他の委員会からの話で印象に残っていることはありますか。

虐待について、実際にあった体験談を含めて、強く訴えている人がいて、とても考えさせられました。

来年、「かながわハイスクール議会」に参加してみようかなと考えている人にメッセージをお願いします。

本物の議場や、委員会会議室を使わせてもらえることは通常ないことなのでとてもいい体験になりました。自分の意見を言いつつ、他の人の意見を聞き、新しい知識や気づきを得ることも多く、とても刺激的な体験をすることができます。また、学校や地域を超えて、友達ができたということも良かったことです。是非、興味のあるテーマを見つけて参加してみてください。

KU（「光陵ユニバース(総合的な学習の時間)」での研究内容について、聞かせてください。

沿線開発のもたらす効果に興味があります。自分が好きなことって何だろうと考えたときに、駅を降りて街並みを見ることが好きだなあとということに気づきました。今は、相鉄線いずみの線の「ゆめが丘」駅周辺の開発について研究をしています。

これまでは、都市開発を中心に考えていましたが、今回「共生社会」について考える中で、障がいのある人や外国の人などを含めて実際に住む人の視点を重視しなければならぬということに気づけたのは良かったです。

将来についてはどう考えていますか。

今までは主に建物などの都市に注目していましたが、すべての人に住みやすい町づくり、災害にも強い町づくりに関わっていきたいと思います。また、観光事業にも興味を持っています。

ところで、光陵高校に入学しようと思ったのはどういうことからですか。

私は、中学生の時も応援団をやりましたし、行事が大好きです。いくつかの学校の文化祭にも行きましたが、光陵高校が最も生徒の皆さんが生き生きしていると感じました。また、体育祭で1年生全員が応援団をやると聞いて、皆で一生懸命取り組めるのがいいなと思いました。

実際に光陵高校に入学してみてどうですか。

本当に良かったと思っています。1年生の時はもちろん、今年も応援団をやりました。時間がとられるし大変なのですが、その中で得られるものも多く、1か月集中して取り組んだというのは大きいと思います。また、1年生との関わりも持てたし、一緒に頑張った人とのつながりはこれからも大切にしたいと思います。

今日は、どうもありがとうございました。KUの研究成果を楽しみにしています。